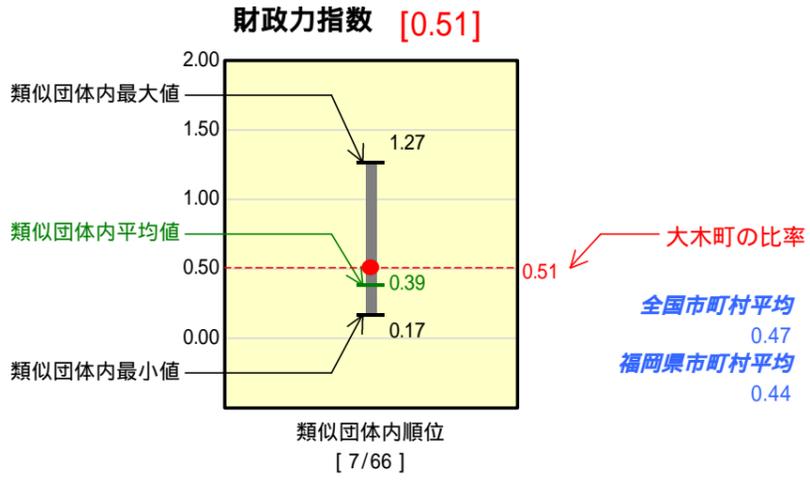


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

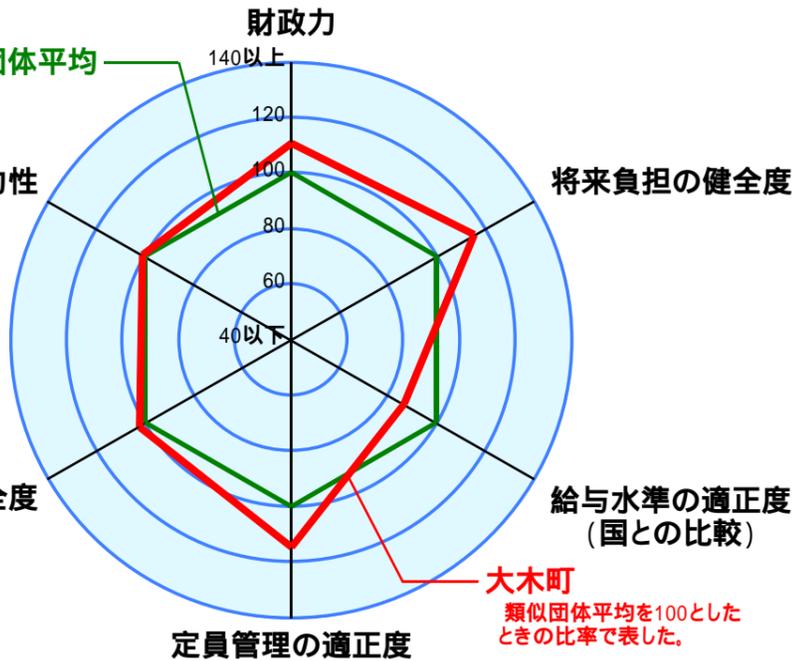
福岡県 大木町

人口	14,416 人(H17.3.31現在)
面積	18.43 km ²
歳入総額	4,719,538 千円
歳出総額	4,582,591 千円
実質収支	130,336 千円

財政力

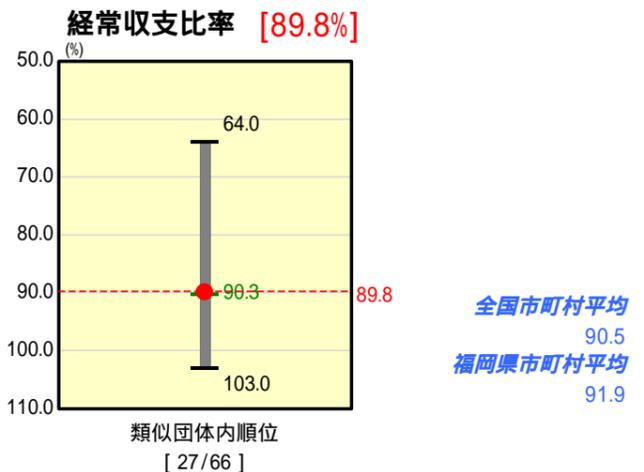


将来負担の健全度

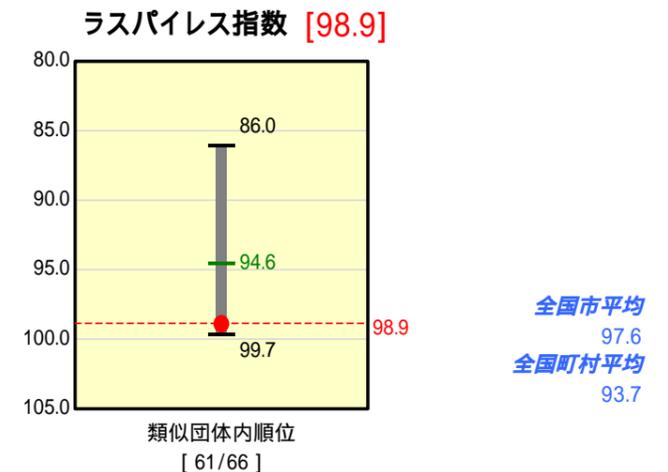


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

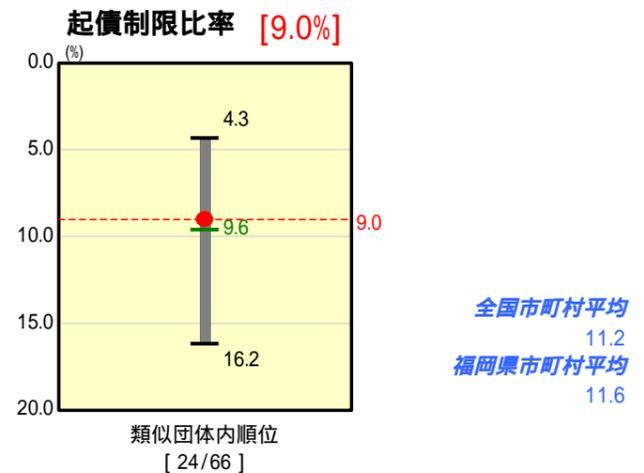
財政構造の弾力性



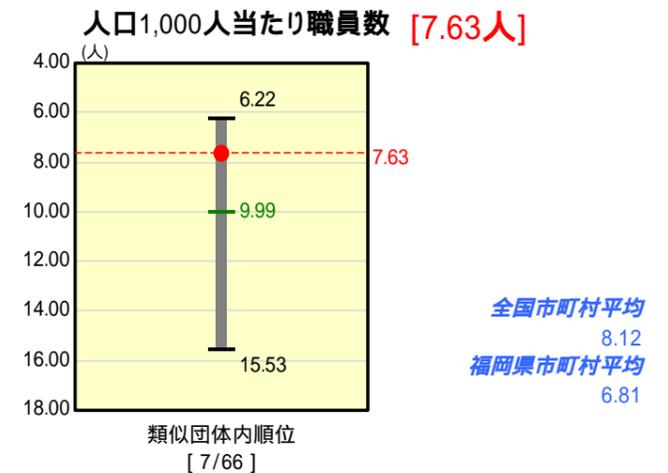
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数
 税収が類似団体を上回っているため、全国平均、県平均及び類似団体平均より上回り、0.51となっている。平成17年度に大木町収納強化対策本部を設置し、更なる収納率の確保に努める。

経常収支比率
 類似団体より若干低い、地方交付税の減により、年々経常収支比率が上昇し、89.8となっている。特に、国庫補助負担金の一般財源化により人件費等の義務的経費の比率が上昇している。今後、集中改革プランの実行による行財政改革の推進を図り義務的経費の縮減に努める。

起債制限比率
 全国平均、県平均及び類似団体の平均より下回り、9.0となっているが、今後の大型事業(有機資源循環施設建設事業等)実施により、上昇することが見込まれるため、その他の事業について見直しや縮小等について検討していく必要がある。

人口1人当たり地方債現在高
 類似団体の平均に比べかなり低い、今後、有機資源循環施設建設事業等の事業を控え、増加が見込まれるため、その他の新規の起債の発行を抑制しなければならない。

ラスパイレス指数
 平成12年度以降は毎年度減少傾向にあるが、類似団体平均より上回っている。今後は、昇給制度の見直し等を行い、ラスパイレス指数の抑制に努める。

人口1,000人当たり職員数
 類似団体の平均より低い、当分の間は単独での町政運営をしなければならないため、新規採用職員の不補充等により、今後10年間で12名の減員を行う。